

## 令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度、4月17日に行われた「全国学力・学習状況調査」では、全国の小学6年生を対象に「国語」「算数」「理科」の学習状況と児童の学校や家庭での生活実態についての調査が行われました。

今回届いた結果を基に、別府西っ子の学力の現状を分析してまとめましたので、その概要を保護者の皆さまにお知らせいたします。

### <学校生活・家庭学習に関して> ※児童質問用紙の回答結果から

#### 【指導の成果が現れている点】

##### ○先生や友達などまわりの人たちと良い人間関係を築くこと

多くの児童が「先生は自分の良いところを認めてくれる」「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「人の役に立つ人間になりたい」と回答していました。また、「普段の生活の中で幸せな気持ちになることがある」という問いにも良好な回答をしている児童が多くいました。学校や家庭において、教師や友達と良い人間関係を築けていることが分かります。

##### ○周りの人とのかかわりの中で課題解決に取り組んでいる

「授業や学校生活では友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」と回答した児童が多くいました。学習だけでなく普段の生活の中でも周りの人の意見に耳を傾け、お互いを大切にし、協力しながら課題の解決に取り組んでいることが分かります。

#### 【指導の工夫が必要だと考えられる点】

##### ○読書の時間、学習時間の確保について

「学校の授業時間以外に、平日、1日当たりどれくらいの時間読書を読みますか」という問いに60%の児童が10分以下と回答し、44.5%の児童が「読書は好きではない」と回答しました。読書は集中力、語彙力、想像力、思考力、共感性などの向上に効果的であると言われてます。今後、読書の習慣を多くの児童が身に付けられるよう指導に取り組んでまいります。

また、「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強しているか」について「平日」58.9%、「休日」70%が1時間未満と回答しました。中学校進学に向け、学校でも家庭学習の大切さについて知らせていきたいと思っております。ご家庭でもご協力をよろしくお願いいたします。

## <国語・算数・理科に関して>

### 【指導の成果が現れている点】

#### (国語) 何について書かれた文章なのか理解すること

「言葉の変化」について書かれた文章や、それを読んだ人の経験談を読み、それらの文章が「時代とともに言葉の意味が変わること」について書かれていると複数の選択肢の中から正しいものを選ぶ正答率が高くなっていました。文章の大まかな要旨を捉える力が身に付いています。授業の中で物語文や説明文について、内容から大段落に分け、それぞれの要旨を短い言葉で書き表す学習の成果が表れています。

#### (算数) 異分母の分数を通分して、加法の計算をすること

$3/4 + 2/3$  の計算についての正答率が高くなっていました。計算ドリルやプリントなどを使って、繰り返し練習問題に取り組んでいる成果が表れています。

#### (理科) 実験をする際、調べたいこと以外は条件をそろえることについて

赤玉土の粒の大きさによって水がしみ込む時間が変わるかを調べる実験で、粒の大きさ以外に土の量、水の量を同じにするよう正しく選択することができます。授業の中で実験に取り組む際、事前に実験方法を丁寧に確認したうえで取り組んでいる成果が表れています。

### 【指導の工夫が必要だと考えられる点】

#### (国語) 漢字の書き取りについて

文章の中で、ひらがなで書かれた部分を漢字に直す問題での間違いが見られました。特に「暑い」のように同音漢字が多いものについて間違いが目立ちました。漢字を覚える際、ただ形を覚えるのではなく、意味も合わせて覚えられるよう、指導に取り組んでまいります。

#### (算数) 単位分数の理解について

今回の調査で、分数の足し算についてはよくできていたものの、単位分数が何かについての理解においてつまづいている様子が見受けられました。(今回の問題では  $3/4 + 2/3$  を通分すると、 $9/12 + 8/12$  となるので  $1/12$  が単位分数となります。) また、 $3/4$  と  $2/3$  はそれぞれ単位分数である  $1/12$  のいくつ分かという問いに対しても誤答するケースが多く見られました。この問題は単なる計算の決まりを覚えるだけではなく、分数の意味を正しく理解しているか問われるものです。分数を「物の何分の1が何個あるか」という具体的なイメージで捉えられるようになると、より複雑な分数計算や、割合・比などの学習にもスムーズに進むことができます。今後、授業の中で、絵や図など具体的なものや日常生活の例を使いながら指導に取り組んでまいります。

#### (理科) 身の回りの金属について電気を通すもの、磁石に引き付けられるものを選択すること

アルミニウム、鉄、銅についてそれぞれ電気を通すか、磁石に引き付けられるかを正しく選択することができなかった児童が多くいました。習ったことを定期的に振り返り、基本的な知識を定着させられるよう取り組んでまいります。